

支所001	項目名	国府地域活性化推進事業費	新規事業
予算書項目	新地域特別振興費	ページ	173
年度	R2	所 属 名	国府町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555		
款 総務費	【10次総の施策体系】3101		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 合併後の国府地域の活性化を図ることを目的として策定された「新地域振興ビジョン」に基づき、“市民と総合支所との協働”を基本とした事業を実施することにより、国府地域の活性化と振興を図る。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 活気あふれる地域の実現に向かい、次世代へ引き継がれるよう地域住民と行政が連携しながら、一体となって地域振興に取り組み、“安全に安心して暮らせる、住みたいまち・住んで良かったといわれるまち「万葉のふるさと 国府」”を目指す。		
(単位：千円)	【事業内容】		
前年度当初予算額	1,202	①袋川清掃事業	
本年度要求額	932	②花づくりと緑化推進事業	
総務部長段階査定額	924	③協働活動支援事業	
市長段階査定額	924	④地域観光資源活用推進事業	
区分	本年度予算額	【事業実績】	
財源内訳	国・県支出金	0	H29年度 309千円
	地方債	0	H30年度 259千円
	その他	0	R元年度 1,202千円
	一般財源	924	
	計	924	
行財政改革課処理欄			

支所002	項目名	国府フィッシングフェスタ補助金	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	251
年度	R2	所 属 名	国府町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所 産業建設課 0857-39-0560		
款 商工費	【10次総の施策体系】3202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 平成4年度からダム建設に伴う将来の湖水並びに周辺の河川を利用したイベント「マスつりフェスタ」として周辺住民の協力を得て始まった。以来、鳥取市内外から多数の参加者を迎え、国府地域を代表する観光イベントとして定着していた。 しかし、平成29年に水産庁から示された「水産分野における産業管理外来種の管理指針」により、ニジマスが河川へ放流することができなくなり、代替魚種への変更を求められたため、令和元年度からニジマスを在来種のヤマメへ変更し、イベント名称を「フィッシングフェスタ」に改称して継続開催する。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 豊かな自然とダム湖の湖水を活用した、地域が一体となるイベントを通して地域振興に資することを目的として実施するものである。		
(単位：千円)	【事業内容】		
前年度当初予算額	2,376	主 催：国府フィッシングフェスタ実行委員会	
本年度要求額	2,334	時 期：令和2年5月31日（日）＜予定＞	
総務部長段階査定額	2,300	場 所：袋川（鳥取市国府町楠城地内）	
市長段階査定額	2,300	○ヤマメつり大会	
区分	本年度予算額	○マスのつかみどり（子ども対象）	
財源内訳	国・県支出金	0	○地域各種団体による特産品の販売等
	地方債	0	○連携イベント（ダム）
	その他	720	
	一般財源	1,580	
	計	2,300	
行財政改革課処理欄	【事業実績】 H29年度 1,724千円（参加者約1,500人） H30年度 2,686千円（参加者約1,200人） R元年度 2,376千円（参加者約1,200人）		
	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。		

支所003	項目名	万葉フェスティバル開催事業費	新規事業
-------	-----	----------------	------

予算書項目	文化振興費	ページ	289
-------	-------	-----	-----

所 属 名	国府町総合支所 地域振興課
-------	------------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

(単位：千円)

前年度当初予算額	3,400
----------	-------

本年度要求額	3,400
--------	-------

総務部長段階査定額	3,400	その他財源の内訳
-----------	-------	----------

分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

市長段階査定額	3,400
---------	-------

区 分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	680
地方債	0
その他	0
一般財源	2,720
計	3,400

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555

【10次総の施策体系】3301

【事業の経過及び背景】

国府地域では、万葉集を編さんした大伴家持が万葉集最後を飾る歌を詠んだ地であることにちなみ「万葉のふるさと」としてまちづくりをすすめてきた。「大伴家持大賞短歌募集事業」は、因幡万葉歴史館開館の平成6年から始まり、短歌愛好家の間では全国的に周知されることとなった。平成21年の万葉集終焉から1250年を記念した「全国万葉フェスティバルin鳥取」を契機に、翌22年からは従来の「大伴家持大賞短歌募集事業」と「全国万葉フェスティバルin鳥取」の一部事業を統合し、「万葉フェスティバルin鳥取」として実施している。

【事業の目的及び効果】

因幡の鳥取が重要な万葉故地であること、万葉のふるさと鳥取市を広く情報発信するものである。

【事業内容】

共 催：新日本海新聞社
時 期：令和2年10月18日（日）＜予定＞
場 所：国府町コミュニティセンター
○短歌募集を行い、大伴家持大賞として選考、審査し表彰式を行う。
また、小中高校生を対象とした短歌講座を行い、短歌の裾野を広げる。

【事業実績】

・H29年度 3,400千円 応募数3,990首（一般2,608首、児童生徒の部1,382首）
・H30年度 3,000千円 応募数3,874首（一般2,113首、児童生徒の部1,761首）
・R元年度 3,400千円 応募数4,072首（一般2,053首、児童生徒の部2,019首）

支所004	項目名	こくふまつり開催費	新規事業
-------	-----	-----------	------

予算書項目	市民音楽祭開催費	ページ	289
-------	----------	-----	-----

所 属 名	国府町総合支所 地域振興課
-------	------------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

(単位：千円)

前年度当初予算額	1,750
----------	-------

本年度要求額	1,750
--------	-------

総務部長段階査定額	1,750	その他財源の内訳
-----------	-------	----------

分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

市長段階査定額	1,750
---------	-------

区 分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	350
地方債	0
その他	0
一般財源	1,400
計	1,750

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555

【10次総の施策体系】3301

【事業の経過及び背景】

国府地域に伝わる文化活動の成果を発表する機会を提供することにより、地域間の交流及び文化活動の活性化を図るとともに国府地域の個性豊かな文化を育てる。

【事業の目的及び効果】

国府地域の文化芸術活動の活性化と、豊かな地域文化の向上、地域の連帯及びふれあいの推進を目的とする。

【事業内容】

主 催：万葉のふる里こくふまつり実行委員会
時 期：令和2年11月3日（火）（文化の日）予定
場 所：国府町コミュニティセンター周辺
○オープニングセレモニー
○芸能発表会
○映画会
○こどもまつり
○地域の特産物バザー

【事業実績】

H29年度 1,750千円
H30年度 1,750千円
R元年度 1,750千円

支所005	項目名	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	新規事業
-------	-----	-------------------	------

予算書項目	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	ページ	301
-------	-------------------	-----	-----

所属名	福部町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育振興費

事業の概要

【問合せ先】福部町総合支所 地域振興課 0857-75-2811

【10次総の施策体系】1103

【事業の経過及び背景】
本大会は、令和2年度で34回を迎え、山陰海岸国立公園鳥取大砂丘と全国有数の生産を誇る鳥取砂丘らっきょうを全国にPRする目的で企画している。

【事業の目的及び効果】
鳥取砂丘の自然とらっきょうの花の咲く中でさわやかな汗をながし、この大会を契機として体力づくりに励み、砂丘の里ふくべの文化、産業、観光等を広く全国に紹介する。また、山陰海岸ジオパークの世界認定と、「鳥取砂丘らっきょう」、「ふくべ砂丘らっきょう」の地理的表示保護制度(GIマーク)認証を記念し、だれでも気軽に参加できる健康マラソンを目指すとともに、市の花であるらっきょうの花をアピールする。

【事業の内容・実績】
鳥取砂丘らっきょう花マラソン大会の経費の一部を助成。
平成29年度 2,930千円 参加者1,752人
平成30年度 3,216千円 参加者1,600人
令和元年度 3,216千円 参加者1,421人(見込み)

※その他の財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。

(単位：千円)

前年度当初予算額	3,216
----------	-------

本年度要求額	3,216
--------	-------

総務部長段階査定額	3,216	その他財源の内訳	
市長段階査定額	3,216	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	282
		贈収入	0
		その他	0

行財政改革課処理欄

支所006	項目名	らっきょう生産振興大会助成事業	新規事業
-------	-----	-----------------	------

予算書項目	地域特産物振興対策事業費	ページ	239
-------	--------------	-----	-----

所属名	福部町総合支所 産業建設課
-----	------------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業振興費

事業の概要

【問合せ先】福部町総合支所 産業建設課 0857-75-2814

【10次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】
平成4年度から毎年開催されている。また、「鳥取砂丘らっきょう」「ふくべ砂丘らっきょう」が、平成28年3月農林水産省から地理的表示保護制度(GIマーク)に登録された。GIマーク登録は、生産者の自信と生産基盤の強化につながっている。

【事業の目的及び効果】
らっきょう生産に一層の意欲向上を図り、さらなるブランド化の定着を目指す。

【事業の内容・実績】
らっきょう生産振興大会経費のうち2分の1を乗じて得た額を予算の範囲内で補助。
平成29年度 257千円
平成30年度 171千円
令和元年度 171千円(見込み)

(単位：千円)

前年度当初予算額	171
----------	-----

本年度要求額	171
--------	-----

総務部長段階査定額	171	その他財源の内訳	
市長段階査定額	171	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0

行財政改革課処理欄

支所007	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	新地域特別振興費	ページ	173
年度	R2	所 属 名	河原町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111		
款 総務費	【10次総の施策体系】3202		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 人口の減少や高齢化が進行し、地域活動や経済活動が低迷している西郷地区において、地域の活性化や定住促進を図るためには、さまざまなアイデアやスキルを有する地域外の有能な人材のサポートが必要である。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 都市部の有能な人材を地域おこし協力隊員として委嘱することにより、地域の活性化や定住促進などを図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 ・ 工芸祭りなどのイベントや民泊事業など滞在型グリーンツーリズム、地域情報の発信などを通じて地域外からの訪問者の増加を図り、移住・定住の促進や地域経済の活性化を図る。 ・ 年々増加する空家を移住者の住居やシェアハウスなどに利活用することにより、さらなる移住者や訪問者の受入れ態勢を整備する。 ・ 三滝渓谷や湯谷温泉などの観光資源を有効に活用した観光戦略の立案や地区の魅力などを広く外部に情報発信する。		
前年度当初予算額	0	<実績> 令和元年度 799千円(見込み) 令和2年2月1日 1名着任	
本年度要求額	3,424		
総務部長段階査定額	3,384	【事業の目的及び効果】 都市部の有能な人材を地域おこし協力隊員として委嘱することにより、地域の活性化や定住促進などを図る。	
市長段階査定額	3,384	【事業の内容・実績】 ・ 工芸祭りなどのイベントや民泊事業など滞在型グリーンツーリズム、地域情報の発信などを通じて地域外からの訪問者の増加を図り、移住・定住の促進や地域経済の活性化を図る。 ・ 年々増加する空家を移住者の住居やシェアハウスなどに利活用することにより、さらなる移住者や訪問者の受入れ態勢を整備する。 ・ 三滝渓谷や湯谷温泉などの観光資源を有効に活用した観光戦略の立案や地区の魅力などを広く外部に情報発信する。	
区分	本年度予算額	【事業の目的及び効果】 都市部の有能な人材を地域おこし協力隊員として委嘱することにより、地域の活性化や定住促進などを図る。	
財源内訳		【事業の内容・実績】 ・ 工芸祭りなどのイベントや民泊事業など滞在型グリーンツーリズム、地域情報の発信などを通じて地域外からの訪問者の増加を図り、移住・定住の促進や地域経済の活性化を図る。 ・ 年々増加する空家を移住者の住居やシェアハウスなどに利活用することにより、さらなる移住者や訪問者の受入れ態勢を整備する。 ・ 三滝渓谷や湯谷温泉などの観光資源を有効に活用した観光戦略の立案や地区の魅力などを広く外部に情報発信する。	
国・県支出金	0	【事業の目的及び効果】 都市部の有能な人材を地域おこし協力隊員として委嘱することにより、地域の活性化や定住促進などを図る。	
地方債	0	【事業の内容・実績】 ・ 工芸祭りなどのイベントや民泊事業など滞在型グリーンツーリズム、地域情報の発信などを通じて地域外からの訪問者の増加を図り、移住・定住の促進や地域経済の活性化を図る。 ・ 年々増加する空家を移住者の住居やシェアハウスなどに利活用することにより、さらなる移住者や訪問者の受入れ態勢を整備する。 ・ 三滝渓谷や湯谷温泉などの観光資源を有効に活用した観光戦略の立案や地区の魅力などを広く外部に情報発信する。	
その他	0	【事業の目的及び効果】 都市部の有能な人材を地域おこし協力隊員として委嘱することにより、地域の活性化や定住促進などを図る。	
一般財源	3,384	【事業の内容・実績】 ・ 工芸祭りなどのイベントや民泊事業など滞在型グリーンツーリズム、地域情報の発信などを通じて地域外からの訪問者の増加を図り、移住・定住の促進や地域経済の活性化を図る。 ・ 年々増加する空家を移住者の住居やシェアハウスなどに利活用することにより、さらなる移住者や訪問者の受入れ態勢を整備する。 ・ 三滝渓谷や湯谷温泉などの観光資源を有効に活用した観光戦略の立案や地区の魅力などを広く外部に情報発信する。	
計	3,384	【事業の目的及び効果】 都市部の有能な人材を地域おこし協力隊員として委嘱することにより、地域の活性化や定住促進などを図る。	
行財政改革課処理欄			

支所008	項目名	いなば西郷工芸の郷づくり支援事業費	新規事業
予算書項目	新地域特別振興費	ページ	173
年度	R2	所 属 名	河原町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111		
款 総務費	【10次総の施策体系】3201		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 平成25年、やなせ窯の白磁作家、前田昭博氏が人間国宝に認定され、市長との対談で工芸家が複数活動している西郷地区の現状を踏まえ、西郷に工芸家を増やして「ものづくりの里」にしたいとの思いを語られた。		
目 企画費	鳥取県、鳥取市、鳥取商工会議所は、独自に工芸の郷づくりへの連携を表明。市においては「鳥取市創生総合戦略」、「第10次鳥取市総合計画」で工芸の郷を開設し、移住定住、地域活性化を図ることとしている。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 鳥取県新たな起業・創業人材移住強化事業補助金 地区内の著名な3つの窯やガラス工芸、木工など多くの工芸作家や研修生が在住する地域の特色を活かして、工芸作家の人材誘致活動を推進し、少子高齢化が進む地域課題の解決と更なる地域活性化を図る。また、鳥取県に在住するただ一人の人間国宝として、海外においても著名な前田昭博氏とタイアップし、地域を挙げて地域特性を発揚しようとする西郷地区の取り組みを鳥取市が支援することは、本市の移住定住の取り組みにも注目が集まり、本市の移住促進に資するものである。		
前年度当初予算額	0	【事業の内容・実績】 (一社)西郷工芸の郷あまんじゃくが、工芸の郷づくりに資する人材への住居・施設・設備の整備と定住支援等研修に要する経費 2名の若手工芸作家が来郷 <実績> 平成29年度 研修費等 1,320千円 平成30年度 研修費等 1,200千円 令和元年度 実績なし	
本年度要求額	5,760		
総務部長段階査定額	2,997	【事業の目的及び効果】 鳥取県新たな起業・創業人材移住強化事業補助金 地区内の著名な3つの窯やガラス工芸、木工など多くの工芸作家や研修生が在住する地域の特色を活かして、工芸作家の人材誘致活動を推進し、少子高齢化が進む地域課題の解決と更なる地域活性化を図る。また、鳥取県に在住するただ一人の人間国宝として、海外においても著名な前田昭博氏とタイアップし、地域を挙げて地域特性を発揚しようとする西郷地区の取り組みを鳥取市が支援することは、本市の移住定住の取り組みにも注目が集まり、本市の移住促進に資するものである。	
市長段階査定額	2,997	【事業の内容・実績】 (一社)西郷工芸の郷あまんじゃくが、工芸の郷づくりに資する人材への住居・施設・設備の整備と定住支援等研修に要する経費 2名の若手工芸作家が来郷 <実績> 平成29年度 研修費等 1,320千円 平成30年度 研修費等 1,200千円 令和元年度 実績なし	
区分	本年度予算額	【事業の目的及び効果】 鳥取県新たな起業・創業人材移住強化事業補助金 地区内の著名な3つの窯やガラス工芸、木工など多くの工芸作家や研修生が在住する地域の特色を活かして、工芸作家の人材誘致活動を推進し、少子高齢化が進む地域課題の解決と更なる地域活性化を図る。また、鳥取県に在住するただ一人の人間国宝として、海外においても著名な前田昭博氏とタイアップし、地域を挙げて地域特性を発揚しようとする西郷地区の取り組みを鳥取市が支援することは、本市の移住定住の取り組みにも注目が集まり、本市の移住促進に資するものである。	
財源内訳		【事業の内容・実績】 (一社)西郷工芸の郷あまんじゃくが、工芸の郷づくりに資する人材への住居・施設・設備の整備と定住支援等研修に要する経費 2名の若手工芸作家が来郷 <実績> 平成29年度 研修費等 1,320千円 平成30年度 研修費等 1,200千円 令和元年度 実績なし	
国・県支出金	1,498	【事業の目的及び効果】 鳥取県新たな起業・創業人材移住強化事業補助金 地区内の著名な3つの窯やガラス工芸、木工など多くの工芸作家や研修生が在住する地域の特色を活かして、工芸作家の人材誘致活動を推進し、少子高齢化が進む地域課題の解決と更なる地域活性化を図る。また、鳥取県に在住するただ一人の人間国宝として、海外においても著名な前田昭博氏とタイアップし、地域を挙げて地域特性を発揚しようとする西郷地区の取り組みを鳥取市が支援することは、本市の移住定住の取り組みにも注目が集まり、本市の移住促進に資するものである。	
地方債	0	【事業の内容・実績】 (一社)西郷工芸の郷あまんじゃくが、工芸の郷づくりに資する人材への住居・施設・設備の整備と定住支援等研修に要する経費 2名の若手工芸作家が来郷 <実績> 平成29年度 研修費等 1,320千円 平成30年度 研修費等 1,200千円 令和元年度 実績なし	
その他	0	【事業の目的及び効果】 鳥取県新たな起業・創業人材移住強化事業補助金 地区内の著名な3つの窯やガラス工芸、木工など多くの工芸作家や研修生が在住する地域の特色を活かして、工芸作家の人材誘致活動を推進し、少子高齢化が進む地域課題の解決と更なる地域活性化を図る。また、鳥取県に在住するただ一人の人間国宝として、海外においても著名な前田昭博氏とタイアップし、地域を挙げて地域特性を発揚しようとする西郷地区の取り組みを鳥取市が支援することは、本市の移住定住の取り組みにも注目が集まり、本市の移住促進に資するものである。	
一般財源	1,499	【事業の内容・実績】 (一社)西郷工芸の郷あまんじゃくが、工芸の郷づくりに資する人材への住居・施設・設備の整備と定住支援等研修に要する経費 2名の若手工芸作家が来郷 <実績> 平成29年度 研修費等 1,320千円 平成30年度 研修費等 1,200千円 令和元年度 実績なし	
計	2,997	【事業の目的及び効果】 鳥取県新たな起業・創業人材移住強化事業補助金 地区内の著名な3つの窯やガラス工芸、木工など多くの工芸作家や研修生が在住する地域の特色を活かして、工芸作家の人材誘致活動を推進し、少子高齢化が進む地域課題の解決と更なる地域活性化を図る。また、鳥取県に在住するただ一人の人間国宝として、海外においても著名な前田昭博氏とタイアップし、地域を挙げて地域特性を発揚しようとする西郷地区の取り組みを鳥取市が支援することは、本市の移住定住の取り組みにも注目が集まり、本市の移住促進に資するものである。	
行財政改革課処理欄			

支所009	項目名	あゆ祭補助金	新規事業
-------	-----	--------	------

予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	251
-------	-------------	-----	-----

所属名	河原町総合支所 産業建設課
-----	------------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

事業の概要

【問合せ先】河原町総合支所 産業建設課 0858-76-3115

【10次総の施策体系】3202

【事業の経過及び背景】
河原町は古くから「あゆの町」として知られており、あゆの豊漁を願うと同時に「あゆの町・かわはら」を広くPRするため昭和54年度から開催している。

【事業の目的及び効果】
あゆの町かわはらを広くPRするとともに地元経済の活性化を図るため、あゆ祭企画実行委員会を中心として毎年8月第1土曜日に実施している。
夏の風物詩として定着し、町内外から多くの来場者があり、地元経済が活性化されている。

【事業の内容・実績】
「あゆ祭り」：あゆのつかみ取り、鮎の塩焼き、子ども広場、あゆ太鼓、ステージショー、花火大会等

平成29年度 補助金 4,926千円 入込客数 25,000人
平成30年度 補助金 1,700千円 7月豪雨により未実施
令和元年度 補助金 5,145千円 入込客数 25,000人

※その他財源は、ふるさと納税基金繰入金。

(単位：千円)

前年度当初予算額	5,145
----------	-------

本年度要求額	5,209
--------	-------

総務部長段階査定額	5,145	その他財源の内訳	
市長段階査定額	5,145	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	1,398
		贈収入	0
		その他	0

行財政改革課処理欄

支所010	項目名	流しびなマラニック大会補助金	新規事業
-------	-----	----------------	------

予算書項目	体育大会費	ページ	301
-------	-------	-----	-----

所属名	用瀬町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育振興費

事業の概要

【問合せ先】用瀬町分室 0858-87-2288

【10次総の施策体系】1103

【事業の経過及び背景】
もちがせ流しびなマラニック大会は、マラソンのように走ったりピクニック気分で行いたり、自分の体力に合わせて種目が選択できる大会で、本年度第33回目を迎える。
自身の体と相談して、マラソン競技と用瀬町の散策を選ぶことができる気安さから広く人気を呼んでおり、県内外から幅広い年齢層が参加している。
マラソン 10km・5km・3km
ウォーク 文学の小径コース(5km)・上方往来コース(3km)

【事業の目的及び効果】
市民の健康づくり及び親睦、健全なスポーツ活動の振興を図るとともに、「流しびなの里用瀬」を広くPRすることを目的とする。

【事業の内容・実績】

・イベント名	もちがせ流しびなマラニック大会		
・主催団体	もちがせ流しびなマラニック大会実行委員会		
・実施場所	流しびなの館周辺		
・開催予定	令和2年5月17日(日)		
・実績	[H29年度]	[H30年度]	[R元年度]
	5/21	5/20	5/19
・参加人数*	1,519人	1,356人	1,185人 (*申込人数)
・総事業費	3,082千円	2,908千円	2,831千円(見込)

【市民ニーズの状況】
アンケートでは好評で、継続を望む意見が多数ある。

※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。

(単位：千円)

前年度当初予算額	2,000
----------	-------

本年度要求額	2,000
--------	-------

総務部長段階査定額	2,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	609
		贈収入	0
		その他	0

行財政改革課処理欄

支所011	項目名 用瀬流しびな行事		新規 事業
予算書項目	観光活動費	ページ	251
年度	R2	所 属 名 用瀬町総合支所 産業建設課	
会計名	事業の概要		
一般会計			
款 商工費			
項 商工費			
目 観光費			
(単位：千円)			
前年度当初予算額	3,936	<p>【問合せ先】用瀬町総合支所 産業建設課 0858-87-3786</p> <p>【10次総の施策体系】3302</p> <p>【事業の目的及び効果】 毎年旧暦3月3日に男女一對の紙雛を棧俵に乗せ、無病息災を願って千代川に流す情緒豊かな民俗文化行事「流しびな」。行事に合わせ観光イベントを実施することにより、地域の活性化を図る。</p> <p>【事業の内容・実績】 ・イベント名 もちがせ流しびな行事 ・主催団体 流しびな実行委員会 ・実施日 令和2年度は旧暦3月3日はなし 翌年度開催行事のPRポスターの作成事業を実施 ・実施場所 鳥取市流しびなの館 [H29年度] [H30年度] [R元年度] (4/7・3/26) ①6,000人 ②6,000人(見込み) ・参加者 一人 5,000人 実施なし ・総事業費 522千円 2,331千円 4,428千円(見込み)</p> <p>【市民ニーズの状況】 江戸時代から続く「流しびな行事」の継承と保存について、内外の関心は高い。</p> <p>【その他】県の指定無形文化財(用瀬のひな送り)</p>	
本年度要求額	500		
総務部長段階査定額	500		
市長段階査定額	500		
その他財源の内訳			
	分担金	0	
	負担金	0	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	0	
	贈収入	0	
	その他	0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	100	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	400	
	計	500	
行財政改革課処理欄			

支所012	項目名 ふるさとの味祭り事業費補助金		新規 事業
予算書項目	むらづくり活性化推進事業費	ページ	237
年度	R2	所 属 名 佐治町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計			
款 農林水産業費			
項 農業費			
目 農業総務費			
(単位：千円)			
前年度当初予算額	1,350	<p>【問合せ先】佐治町総合支所 地域振興課 0858-88-0211</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【事業の経過及び背景】 「佐治ふるさと祭り」は昭和57年から佐治地域の秋の収穫祭として開催しており、平成27年からは、公民館祭りと共同開催としている。また、令和元年度は、小学校の学習発表会も合同で開催した。</p> <p>【事業内容】 佐治地域の秋の収穫祭として、地元の農産物や加工品の販売、郷土芸能の発表、公民館事業の展示等を中心とした「佐治ふるさと祭り」を毎年開催している。地域の団体が構成する実行委員会が主催。佐治地域内外の多くの人の参加があり、佐治地域の秋のイベントとして定着している。 主催 佐治ふるさと祭り実行委員会</p> <p>【事業実績】 平成29年度 1,350千円 入込客数800人 平成30年度 1,350千円 入込客数800人 令和元年度 1,350千円 入込客数800人</p> <p>【今後の取組】 佐治地域の活性化策として、より一層の充実を図る。 ※その他財源は、ふるさと納税基金繰入金。</p>	
本年度要求額	1,350		
総務部長段階査定額	1,350		
市長段階査定額	1,350		
その他財源の内訳			
	分担金	0	
	負担金	0	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	565	
	贈収入	0	
	その他	0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	565	
	一般財源	785	
	計	1,350	
行財政改革課処理欄			

支所013	項目名	文化振興費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	289
年度	R2	所 属 名	佐治町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】佐治町総合支所 地域振興課 0858-88-0211		
款 教育費	【10次総の施策体系】3301		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 佐治地域の宝である「佐治谷話」を保存伝承するため、佐治民話会への事業委託及び補助により佐治谷ばなし紙芝居や本の作成、小中学生への伝承活動、各地区公民館への普及活動など多様な事業を幅広く行っている。		
目 文化振興費	【事業内容】 佐治民話会による保存伝承活動への補助金 補助対象事業費・51千円 補助金額・25千円：文化財保存及び保護に関する補助金		
(単位：千円)	【事業実績】 平成29年度 25千円 平成30年度 25千円 令和元年度 25千円		
前年度当初予算額	25		
本年度要求額	25		
総務部長段階査定額	25	その他財源の内訳	
市長段階査定額	25	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	5		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	20		
計	25		
行財政改革課処理欄			

支所014	項目名	芸術によるまちづくり推進事業費	新規事業
予算書項目	地域振興対策費	ページ	173
年度	R2	所 属 名	気高町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011		
款 総務費	【10次総の施策体系】3202		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 気高地域では、平成26年8月に策定した「鳥取市新市域振興ビジョン」において、「芸術のまちづくり」の取り組みを進めている。 文化芸術団体である「ことり舎」は、映画塾、ワークショップを企画・運営し、気高町を舞台とした映画を撮影しており、鳥取市と鳥取県が助成を行っている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 ワークショップ、地域内での撮影を通じて交流人口の増加を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 浜村温泉湯けむり映画塾 ①ワークショップ ②作品撮影 ③浜村温泉映画祭の開催 実績 平成29年度作品 4本のショートムービー 「大タブの木の下で」・「失恋ゴースト」・「裸婦rough」・「失恋太鼓」 平成30年度作品 「はだかのおじさん」 令和元年度作品 連続ミニドラマ「拝啓、砂の国より」(3話) 毎年2月頃に開催している浜村温泉映画祭で作品を上映する。		
前年度当初予算額	1,000		
本年度要求額	1,000		
総務部長段階査定額	1,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,000		
計	1,000		
行財政改革課処理欄			

支所015	項目名	気高地域活性化推進事業費	新規事業																				
予算書項目	新地域特別振興費	ページ	173																				
年度	R2	所 属 名	気高町総合支所 地域振興課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011																						
款 総務費	【10次総の施策体系】3101、3202																						
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 総合支所と地域住民の協働による地域振興策として平成18年度からフラワーロードの整備を行ってきたが、より効果を高めるため従来の事業に加えて、各分野の組織が連携し、「空き家・空き店舗の拡大」、「貝がら節の後継者不足」など地域が抱えるさまざまな課題を住民主体で取り組む活動を推進する。																						
目 企画費	【事業の目的及び効果】 住民が地域づくりに参画し、地域振興策を実施することにより、地域の一体感の醸成と活性化を図る。																						
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 地域で様々な課題に個別に取り組んでいる団体・個人に呼びかけ、総合的なまちづくりと住民の合意形成を図る組織（活性化委員会（仮））の立ち上げと、「地域活性化のグラウンドデザイン」を作成することを支援する。 ＜平成29年度＞フラワーロードを整備した。 ＜平成30年度＞フラワーロードを整備した。 ＜令和元年度＞フラワーロードを整備した。																						
前年度当初予算額	63	行財政改革課処理欄																					
本年度要求額	500																						
総務部長段階査定額	500	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	500																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	100																					
	地方債	0																					
	その他	0																					
	一般財源	400																					
	計	500																					

支所016	項目名	貝がら節まつり補助金	新規事業																				
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	251																				
年度	R2	所 属 名	気高町総合支所 地域振興課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011																						
款 商工費	【10次総の施策体系】2201																						
項 商工費	【事業の経過及び背景】 気高町を代表する夏祭り、貝がら節踊りや民謡貝がら節のふるさとを広くPRするとともに、交流人口の拡大を図るために開催している。																						
目 観光費	【事業の目的及び効果】 山陰海岸ジオパークエリア拡大により地域資源を再発信するなど、観光客の誘客を図り、地域住民と協働し祭りを盛り上げ、地域活性化につなげる。また、地元への経済効果の拡大や交流人口の拡大が期待できる。																						
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 貝がら節総踊り、レーザー花火ショー、屋台村、芸能ステージ、船屋台パレードなど 平成29年度 延べ参加者 7,000人 平成30年度 延べ参加者 5,500人 令和元年度 延べ参加者 5,500人																						
前年度当初予算額	3,977	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。																					
本年度要求額	3,977																						
総務部長段階査定額	3,977	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>720</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	720	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	720																						
贈収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	3,977																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	0																					
	地方債	0																					
	その他	720																					
	一般財源	3,257																					
	計	3,977																					
行財政改革課処理欄																							

支所017	項目名	貝がら節の郷づくり協議会補助金	新規事業
予算書項目	各種団体補助金負担金	ページ	251
年度	R2	所 属 名	気高町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011		
款 商工費	【10次総の施策体系】2201		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 浜村温泉街の再生を図るため、平成22年度から地域の活性化につなげる事業を実施し、「貝がら節のふるさと」である気高町を内外に向けてPRしている。気高町文化祭実行委員会が開催していた「気高ときめき祭り」を平成28年度から当協議会が主体となって開催し、より地域活性化を図る。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 気高地域の発展を目指し、「貝がら節」をキーワードに観光客の誘致を促進し、もって鳥取市の観光振興を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額	1,868	<平成29年度> しょうがぼかぼかフェスタ2018 延べ参加者 4,000人 気高ときめきまつり 延べ参加者 1,960人 <平成30年度> しょうがぼかぼかフェスタ2019 延べ参加者 5,000人 気高ときめきまつり 延べ参加者 2,400人 <令和元年度> しょうがぼかぼかフェスタ2020 令和2年3月開催予定 気高ときめきまつり 延べ参加者 2,500人	
本年度要求額	1,868	<平成29年度> しょうがぼかぼかフェスタ2018 延べ参加者 4,000人 気高ときめきまつり 延べ参加者 1,960人 <平成30年度> しょうがぼかぼかフェスタ2019 延べ参加者 5,000人 気高ときめきまつり 延べ参加者 2,400人 <令和元年度> しょうがぼかぼかフェスタ2020 令和2年3月開催予定 気高ときめきまつり 延べ参加者 2,500人	
総務部長段階査定額	1,868	<平成29年度> しょうがぼかぼかフェスタ2018 延べ参加者 4,000人 気高ときめきまつり 延べ参加者 1,960人 <平成30年度> しょうがぼかぼかフェスタ2019 延べ参加者 5,000人 気高ときめきまつり 延べ参加者 2,400人 <令和元年度> しょうがぼかぼかフェスタ2020 令和2年3月開催予定 気高ときめきまつり 延べ参加者 2,500人	
市長段階査定額	1,868	<平成29年度> しょうがぼかぼかフェスタ2018 延べ参加者 4,000人 気高ときめきまつり 延べ参加者 1,960人 <平成30年度> しょうがぼかぼかフェスタ2019 延べ参加者 5,000人 気高ときめきまつり 延べ参加者 2,400人 <令和元年度> しょうがぼかぼかフェスタ2020 令和2年3月開催予定 気高ときめきまつり 延べ参加者 2,500人	
区分	本年度予算額	<平成29年度> しょうがぼかぼかフェスタ2018 延べ参加者 4,000人 気高ときめきまつり 延べ参加者 1,960人 <平成30年度> しょうがぼかぼかフェスタ2019 延べ参加者 5,000人 気高ときめきまつり 延べ参加者 2,400人 <令和元年度> しょうがぼかぼかフェスタ2020 令和2年3月開催予定 気高ときめきまつり 延べ参加者 2,500人	
財源内訳	国・県支出金 373	<平成29年度> しょうがぼかぼかフェスタ2018 延べ参加者 4,000人 気高ときめきまつり 延べ参加者 1,960人 <平成30年度> しょうがぼかぼかフェスタ2019 延べ参加者 5,000人 気高ときめきまつり 延べ参加者 2,400人 <令和元年度> しょうがぼかぼかフェスタ2020 令和2年3月開催予定 気高ときめきまつり 延べ参加者 2,500人	
	地方債 0	<平成29年度> しょうがぼかぼかフェスタ2018 延べ参加者 4,000人 気高ときめきまつり 延べ参加者 1,960人 <平成30年度> しょうがぼかぼかフェスタ2019 延べ参加者 5,000人 気高ときめきまつり 延べ参加者 2,400人 <令和元年度> しょうがぼかぼかフェスタ2020 令和2年3月開催予定 気高ときめきまつり 延べ参加者 2,500人	
	その他 0	<平成29年度> しょうがぼかぼかフェスタ2018 延べ参加者 4,000人 気高ときめきまつり 延べ参加者 1,960人 <平成30年度> しょうがぼかぼかフェスタ2019 延べ参加者 5,000人 気高ときめきまつり 延べ参加者 2,400人 <令和元年度> しょうがぼかぼかフェスタ2020 令和2年3月開催予定 気高ときめきまつり 延べ参加者 2,500人	
	一般財源 1,495	<平成29年度> しょうがぼかぼかフェスタ2018 延べ参加者 4,000人 気高ときめきまつり 延べ参加者 1,960人 <平成30年度> しょうがぼかぼかフェスタ2019 延べ参加者 5,000人 気高ときめきまつり 延べ参加者 2,400人 <令和元年度> しょうがぼかぼかフェスタ2020 令和2年3月開催予定 気高ときめきまつり 延べ参加者 2,500人	
	計 1,868	<平成29年度> しょうがぼかぼかフェスタ2018 延べ参加者 4,000人 気高ときめきまつり 延べ参加者 1,960人 <平成30年度> しょうがぼかぼかフェスタ2019 延べ参加者 5,000人 気高ときめきまつり 延べ参加者 2,400人 <令和元年度> しょうがぼかぼかフェスタ2020 令和2年3月開催予定 気高ときめきまつり 延べ参加者 2,500人	
行財政改革課処理欄			

支所018	項目名	わたたいな祭事業費	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	251
年度	R2	所 属 名	鹿野町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所 地域振興課 0857-84-2011		
款 商工費	【10次総の施策体系】3202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 住民団体と行政とが連携し、地域の活性化をめざすイベントとして、平成12年度から毎年開催。地元や近隣のグループなどが気軽に参加できる体制をつくっている。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 鹿野地域のにぎわい創出と交流人口・関係人口の増を目的に、平成30年度からは例年秋に開催される地元行事（鳥の演劇祭、週末だけのまちのみせ）との連携を図り、住民の地域づくりの意識向上と地域経済の活性化に寄与している。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 秋の地元行事（鳥の演劇祭、週末だけのまちのみせ）の主会場となる、城下町地域での盛り上げイベントや、特産物等の即売を行う「鹿野えもん市」、文化団体等による作品展示会を開催。		
前年度当初予算額	2,143	平成29年度／来場者 5,000人／事業費 1,238千円 平成30年度／来場者 5,000人／事業費 1,998千円 令和元年度／来場者 18,000人／事業費 2,025千円（見込み） （鳥の演劇祭、週末だけのまちのみせを含む）	
本年度要求額	2,144	平成29年度／来場者 5,000人／事業費 1,238千円 平成30年度／来場者 5,000人／事業費 1,998千円 令和元年度／来場者 18,000人／事業費 2,025千円（見込み） （鳥の演劇祭、週末だけのまちのみせを含む）	
総務部長段階査定額	2,140	平成29年度／来場者 5,000人／事業費 1,238千円 平成30年度／来場者 5,000人／事業費 1,998千円 令和元年度／来場者 18,000人／事業費 2,025千円（見込み） （鳥の演劇祭、週末だけのまちのみせを含む）	
市長段階査定額	2,140	平成29年度／来場者 5,000人／事業費 1,238千円 平成30年度／来場者 5,000人／事業費 1,998千円 令和元年度／来場者 18,000人／事業費 2,025千円（見込み） （鳥の演劇祭、週末だけのまちのみせを含む）	
区分	本年度予算額	平成29年度／来場者 5,000人／事業費 1,238千円 平成30年度／来場者 5,000人／事業費 1,998千円 令和元年度／来場者 18,000人／事業費 2,025千円（見込み） （鳥の演劇祭、週末だけのまちのみせを含む）	
財源内訳	国・県支出金 0	平成29年度／来場者 5,000人／事業費 1,238千円 平成30年度／来場者 5,000人／事業費 1,998千円 令和元年度／来場者 18,000人／事業費 2,025千円（見込み） （鳥の演劇祭、週末だけのまちのみせを含む）	
	地方債 0	平成29年度／来場者 5,000人／事業費 1,238千円 平成30年度／来場者 5,000人／事業費 1,998千円 令和元年度／来場者 18,000人／事業費 2,025千円（見込み） （鳥の演劇祭、週末だけのまちのみせを含む）	
	その他 0	平成29年度／来場者 5,000人／事業費 1,238千円 平成30年度／来場者 5,000人／事業費 1,998千円 令和元年度／来場者 18,000人／事業費 2,025千円（見込み） （鳥の演劇祭、週末だけのまちのみせを含む）	
	一般財源 2,140	平成29年度／来場者 5,000人／事業費 1,238千円 平成30年度／来場者 5,000人／事業費 1,998千円 令和元年度／来場者 18,000人／事業費 2,025千円（見込み） （鳥の演劇祭、週末だけのまちのみせを含む）	
	計 2,140	平成29年度／来場者 5,000人／事業費 1,238千円 平成30年度／来場者 5,000人／事業費 1,998千円 令和元年度／来場者 18,000人／事業費 2,025千円（見込み） （鳥の演劇祭、週末だけのまちのみせを含む）	
行財政改革課処理欄			

支所019	項目名	町民音楽祭開催費	新規事業
-------	-----	----------	------

予算書項目	市民音楽祭開催費	ページ	289
-------	----------	-----	-----

所 属 名	鹿野町総合支所 地域振興課
-------	------------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

(単位：千円)

前年度当初予算額	3,200
----------	-------

本年度要求額	3,200
--------	-------

総務部長段階査定額	3,200	その他財源の内訳
-----------	-------	----------

分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	540
贈収入	0
その他	0

市長段階査定額	3,200
---------	-------

区 分	本年度予算額
国・県支出金	0
地方債	0
その他	540
一般財源	2,660
計	3,200

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】鹿野町総合支所 地域振興課 0857-84-2011

【10次総の施策体系】3301

【事業の内容】

鹿野町民音楽祭実行委員会が主体として開催するふるさとミュージカルは、昭和62年にはじまり、多数住民が参画しながら継続して開催され、鹿野発の鳥取市民ミュージカルとして、またレベルの高い芸術活動として内外から認知されるようになった。活動着手以来34周年を迎え、活動のさらなる定着を目指して地域内指導者の育成や市内舞台芸術団体との連携強化に努め、多くの市民の参画を得ながら自主的に企画・制作・運営を行っている。

制作期間は約半年間に及び、この間展開される広い年齢層の市民交流は、今後の良好な市民コミュニティづくりに於いても貢献できることが期待される。

地域の文化芸術振興・魅力ある地域づくり・多世代間交流の促進による住民コミュニティの醸成等を総合的に支援するため継続した活動補助を行う。

【事業の内容・実績】

令和2年度

【事業名】 第34回鹿野ふるさとミュージカル
「さくら姫物語」(予定) 制作上演事業

【事業期間】 ※上演期日 令和2年5月31日

【事業場所】 鳥取市民会館

【事業主体】 鹿野町民音楽祭実行委員会

【総事業費】 4,350千円

	補助金額	入場者数	会場
平成29年度	3,200千円	528人(1回公演)	鳥取市民会館
平成30年度	2,650千円	563人(1回公演)	鳥取市民会館
令和元年度	3,200千円	539人(1回公演)	鳥取市民会館

※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。

支所020	項目名	鹿野城跡公園管理費	新規事業
-------	-----	-----------	------

予算書項目	公園管理費	ページ	265
-------	-------	-----	-----

所 属 名	鹿野町総合支所 産業建設課
-------	------------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	土木費
項	都市計画費
目	公園管理費

(単位：千円)

前年度当初予算額	3,613
----------	-------

本年度要求額	4,009
--------	-------

総務部長段階査定額	3,673	その他財源の内訳
-----------	-------	----------

分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

市長段階査定額	3,673
---------	-------

区 分	本年度予算額
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	3,673
計	3,673

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】鹿野町総合支所 産業建設課 0857-84-2012

【10次総の施策体系】4201

【事業の経過及び背景】

鹿野城跡は鳥取市指定史跡に指定されており、戦国時代末期から栄えた鹿野城の城郭遺構を「市民の憩いの場」「観光レクリエーション」「歴史文化教育の場」として公園整備している。

山頂には天守跡があり、山麓の本丸・二ノ丸は鹿野学園として活用され、水をたたえる内堀・外堀・薬研堀、その周囲からなり、公園区域面積は約3.6haある。春には約500本の桜が咲き誇り、県内有数の夜桜の名所として多くの花見客が訪れている。さらに秋には約600本の紅葉の彩りを楽しむことができる。

また、住民のボランティア活動が盛んで、自治会、まちづくり協議会、任意団体等による、除草・清掃活動及びお花見シーズンのポンボリ設置等が活発に行われている。

【事業の目的及び効果】

鹿野城跡公園の維持管理業務を適正に行い、安全、安心な憩いの場を市民及び観光客へ提供する。

【事業の内容】
鹿野城跡公園管理業務

【事業の実績】(施設の大規模修繕費を含む)

平成30年度	7,260千円
令和元年度	7,613千円(見込み)

支所021	項目名	青谷オープン卓球大会補助金	新規事業
予算書項目	地域振興対策費	ページ	173
年度	R2	所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011		
款 総務費	【10次総の実施体系】3202		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	「卓球のまち青谷（昭和60年わかとり国体卓球競技会場）」「卓球の青谷高校（インターハイ30回出場）」として名をはせた「卓球」を青谷町の資源として再認識することが必要である。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	400	青谷オープン卓球大会を開催することにより、鳥取市内の中学生に広く卓球実践の機会を与え、技術の向上とスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健全な中学生の育成を目指す。また、青谷高等学校（卓球部OB等）、地域住民など地域を挙げて大会の企画運営にかかわることにより、地域活性化を図る。	
本年度要求額	400	【事業の内容・実績】	
総務部長段階査定額	400	近府県の卓球連盟から推薦を受けた中学校チームと青谷中学校、鳥取県選抜チームを対象とした男女別の団体戦リーグ戦を行う。また卓球の技術向上を目指し、講習会を実施する。	
市長段階査定額	400	平成29年度決算額 500千円 参加チーム数 男11 女9	
区分	本年度予算額	平成30年度決算額 400千円 参加チーム数 男11 女9	
国・県支出金	0	令和元年度決算見込額 400千円 参加チーム数 男11 女9	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	400		
計	400		
行財政改革課処理欄			

支所022	項目名	青谷地域活性化推進事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	173
年度	R2	所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011		
款 総務費	【10次総の施策体系】3202		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	◆青谷地域は地域資源が豊富であり、青谷の自然、歴史文化などの魅力を次代に継承すべく様々な活動に地域住民主体で取り組んでいく必要がある。そのため、個々の活動を青谷地域全体の取り組みとするため活動母体となる組織「青谷地域づくり連絡協議会」を中心として青谷地域全体の取り組みとして盛り上げていく。		
(単位：千円)	◆青谷地域を代表する伝統工芸品「因州和紙」を市内外に発信するため、市民の和紙工芸グループ制作の因州和紙工芸品を展示紹介するPR事業を行う。		
前年度当初予算額	1,226	【事業の目的及び効果】	
本年度要求額	1,226	青谷地域づくり連絡協議会が取り組む地域振興事業に対して補助をする。また、和紙工芸グループの協力による因州和紙PR事業を実施する。	
総務部長段階査定額	1,226	【事業の内容・実績】	
市長段階査定額	1,226	◆青谷地域づくり連絡協議会事業	
区分	本年度予算額	①夢灯ろう点灯事業 ②美化活動 ③鳴り砂保全活動 ④ふるさとPR活動	
国・県支出金	0	⑤長尾鼻自然保全活動 ⑥青谷上寺地遺跡学習活動 ⑦池田市交流促進活動	
地方債	0	⑧青谷の魅力発掘活動	
その他	0	◆因州和紙PR事業	
一般財源	1,226	平成29年度決算額 923千円	
計	1,226	平成30年度決算額 1,081千円	
行財政改革課処理欄	令和元年度決算見込額 1,226千円		

支所023	項目名	青谷上寺地遺跡利活用推進事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	173
年度	R2	所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011		
款 総務費	【10次総の施策体系】3202		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 青谷上寺地遺跡が今後、史跡公園として整備される計画に合わせて、これを地域の魅力向上及び活性化を図る良い機会ととらえ、地域力を活用し、史跡を活用したまちづくりを目指す。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 青谷上寺地遺跡の遺跡ガイドや古代体験の活動を支えるサポーターを養成するために各種講座を開催することで、地域住民の中から活動できる人材を育成し、遺跡および地域の魅力向上を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 人材育成のための普及啓発に係る各種講座の開催 平成30年度決算額 82千円 令和元年度決算見込額 292千円		
前年度当初予算額	342	総務部長段階査定額	276
本年度要求額	276	市長段階査定額	276
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
国・県支出金	0	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	0	使用料	0
一般財源	276	手数料	0
計	276	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

支所024	項目名	青谷ようこそ夏まつり事業費	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	251
年度	R2	所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011		
款 商工費	【10次総の施策体系】3202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 「青谷ようこそ夏まつり」は、令和2年度で23回目を迎え、多くの地域住民に認知され親しまれる青谷地域を代表するイベントとなっている。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 青谷町および西いなば全体の観光振興及び商業振興を目的とし、交流人口の増加や地域振興につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (1) 事業主体 青谷ようこそ夏まつり実行委員会 (2) 内 容 ステージイベント、屋台などの会場イベント (3) 実 績 平成29年度：入場者実績 3,000人 決算額 1,000千円 平成30年度：入場者実績 3,500人 決算額 950千円 令和元年度：入場者実績 3,000人 決算見込額 950千円		
前年度当初予算額	950	総務部長段階査定額	950
本年度要求額	950	市長段階査定額	950
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
国・県支出金	0	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	0	使用料	0
一般財源	950	手数料	0
計	950	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

支所025	項目名	青谷地域にぎわい創出事業補助金	新規事業
-------	-----	-----------------	------

予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	251
-------	-------------	-----	-----

所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
-------	------------------

年度	R2
----	----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位：千円)

前年度当初予算額	2,850
----------	-------

本年度要求額	2,850
--------	-------

総務部長段階査定額	2,850
-----------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	896
贈収	0
その他	0

市長段階査定額	2,850
---------	-------

区 分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	896
一般財源	1,954
計	2,850

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011

【10次総の施策体系】3202

【事業の経過及び背景】

平成28年度から因州和紙の産地強化とまちなかの賑わいを目的とした定期的なイベント等に取り組んでいる。

【事業の目的及び効果】

地域の活性化を図るため、次の2項目を目指す。

- ① 伝統産業である因州和紙の更なる産地強化
- ② 青谷上寺地遺跡、北前船などの青谷の地域資源や海山の豊かな自然産物等を利用して各種団体と連携した定期的なイベントを開催し、まちなかに賑わいを取り戻す。

【事業の内容・実績】

実行委員会補助

① 「青谷因州和紙産地強化事業」

事業場所：あおや和紙工房、日置地区公民館周辺 ほか

事業概要：因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭、手漉き和紙保存事業

② 「青谷ようこそ市場（通称：「あおいち」）開催事業」

事業期間：6月から12月（年6回）

事業場所：青谷町駅前（青谷ようこそ館前）、夏泊漁港、かちべ伝承館、ようこそ広場他

事業概要：青谷町内外で生産、加工された製品の販売・試食
有志及び園児、生徒、学生によるパフォーマンスなど

平成29年度決算額 2,925千円

平成30年度決算額 2,850千円

令和元年度決算見込額 2,850千円

※その他の財源は、ふるさと納税基金繰入金。